

昭和63年度 研究集録

「豊かな人間性を育てる特別活動」

◎ まえがき

部会長 尾崎 昭典

- ・ 教師と児童・生徒との好ましい人間関係は確かな児童・生徒理解から始めなければならない。意図的に多様な面からの児童・生徒理解を図るべき。個々の児童・生徒を学校生活の各場面で意図的に問題解決の指導に当たることによって、児童・生徒理解はさらに深まる。

◎ 豊かな体験を創意工夫する教育

指導主事 沼田 稔

- ・ 子供に豊かな体験をさせることは、多様な教材を提供していることにもなり、個性の伸長、自主性の育成、問題解決の方法を学ぶといった特別活動の目標は、指導要領の改訂にもともなっていますますます光彩を放つ。

◎ 学級経営が見える授業

指導主事 三輪 一彦

- ・ 心に残る授業は、どんな意図を持って学級経営をしているかということが子供の姿を通して分かる。教科の授業においても、学級経営が基盤になり、とりわけ特別活動では子供を通して学級経営が見える授業がよい授業の第一条件である。

第1部 小学校編

◎ 一人一人が生き生きと活躍する学級活動

- 1 一人一人が生き生きと参加する話し合い活動の指導
- 2 活動する喜びを味わわせる低学年の係活動の指導
- 3 一人一人に創意工夫する喜びを味わわせる学級集会活動の指導
- 4 自ら考え行動できる児童を育てる学級集会活動の指導

◎ 全校児童の理解を深める児童会活動

- 1 低学年の願いを生かす代表委員会の指導
- 2 みんなでつくりあげる代表委員会の指導
- 3 全校児童が身近に感じる代表委員会の指導
- 4 学級代表の輪番制による代表委員会の指導
- 5 全校児童への働きかけを工夫した安全生活委員会の指導
- 6 思いやりの心を育てる全校縦割り集会活動の指導

◎ 楽しく活動させるクラブ活動の工夫

- 1 実践例1 <サッカークラブ>
- 2 実践例2 <球技クラブ>
- 3 実践例3 <一輪車クラブ>
- 4 実践例4 <将棋クラブ>
- 5 実践例5 <レクリエーション・クラフトクラブ>
- 6 実践例6 <国際理解クラブ>

◎ 好ましい人間関係を育てる学級指導

- 1 事前の調査を生かし、指導効果を上げる工夫

- 2 解決の方法を考えさせる資料の工夫（1）
- 3 解決の方法を考えさせる資料の工夫（2）
- 4 実践意欲を高める指導過程の工夫
- 5 実践意欲を維持し，行動の定着化を図る事後指導の工夫

◎ 児童の参加意欲を高め満足感を味わわせる学校行事

- 1 参加意欲を高める交通訓練
- 2 満足感を味わわせる展覧会
- 3 感動のある卒業式
- 4 成就感を味わわせる栽培活動

第2部 中学校編

◎ 楽しく魅力を覚える係活動の指導

- 1 研究にあたっての実態調査
- 2 同じ課題を持つ生徒同士で取り組ませる係活動
- 3 自分の良さを生かす係活動
- 4 問題点を解決するための係活動
- 5 学級生活を円滑に進めるための係活動

◎ 活動意欲を引き出す生徒会活動

- 1 一人一人の参加意欲を高める生徒会活動
- 2 生徒一人一人の意見を生かした行事づくり
- 3 生徒会への自主的な参加をめざして

◎ 個別指導への発展を図る学級指導

- 1 進路の目標や課題を見付けさせる学級指導
- 2 自分の将来を見つめさせる指導
- 3 自ら学び続ける態度を養う学級指導
- 4 自分の手で悩みを解決する態度を養う学級指導
- 5 認め合う態度を育てる学級指導
- 6 学級の仲間がお互いに認め合い励まし合う学級指導

◎ あとがき

委員長 小島 文三

- ・ 特別活動の指導のポイントとして「創意工夫する構え，個人にあった指導をする構え，課題を解決していく過程を大切に作る構え」が重要。こうした積み上げによって，一人一人が生かされ，「学級経営のメイン」として，さらには「学校教育のメイン」として特別活動の位置が確かなものとなる。